運用支援システム(M-VOS)からのファイル移行について

システム管理係

本誌の別掲記事「システム入れ替えのお知らせ」に掲載しているとおり、運用支援シス テム(m-vos・m-unix)は、2007年3月上旬でサービスを終了します。

センターでは、SR11000/J1 などへのファイル移行は行いません。ご面倒ですが、利用者の皆様には、各自でお手元の Unix/Windows や SR11000/J1 などへのファイル移行をお願いいたします。

以下、ファイル転送前の注意事項、FTP コマンドによるファイル転送例を紹介しますので、 参考にしてください。

1. ファイル転送前の注意事項

VOS3 で作成されたプログラム、テキスト形式のデーター、テキストファイル等のみを Unix/Windows ヘ転送して下さい (ロードモジュール (.LOAD ファイル) は転送しても実行 することは出来ません)。なお、VOS3 で作成されたバイナリーデーターを Unix で読めるよ うに変換する FCONVERT コマンドがあります。これについて詳しくは[1][2]をご覧ください。 [1] センターニュース Vol. 27, No. 3 (1995. 5)「s-unix, m-unix での FORTRAN, C, NQS

あれこれ(その2)」(http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/cnews/Vol27/no3/are2-all.pdf) [2] 東大センターにおける UNIX システム入門(第2版)(1996.7)「同」

1.1 レコードフォーマット (RECFM)

RECFM が V, VB, VBM の場合、レコード中にレコードの長さの情報が含まれるため、 Unix/Windows へは転送できません(転送自体はできますが、利用できません)。このため、 V, VB 等のデーターセットは事前に F, FB へ変換してください。(以下は RECFM=VB, LRECL=255のデーターセットを RECFM=FB, LRECL=80 へ変換し、変換元のデーターセットの 81 バイト目以降に必要な情報がない場合の例です。81 バイト目以降に必要なデーターがあ る場合は、その最大長を指定してアロケーションしてください。)

例: (転送したいデーターセット名: A. FORT、転送すべきデーターセット名: @A. FORT)>> FSH A. FORT

ORG-RFM-BLKS/LRECL---SIZE(USED)----EXT----DSNAME-

P0 VB 6160/255 58 (4) KB 1 A. FORT

>> <u>FILE</u>, @A. FORT, <u>DCB (RECFM=FB, LRECL=80, BLKSIZE=6160)</u>, <u>DSORG (PO)</u>, <u>NEW</u> × 1

>> FCO A. FORT, @A. FORT

※1 ファイル容量、ディレクトリブロック数等は、必要分を適宜指定してください。

1.2 FORTRAN のシーケンシャル番号 (73~80 カラム)

FORTRAN ソースプログラムの 73~80 カラムにあるシーケンシャル番号は、一般には不要です。これは以下の方法により削除できます。

例: (転送したいデーターセット名: B. FORT、転送すべきデーターセット名: @B. FORT)

>> FSH B. FORT

ORG-RFM-BLKS/LRECL---SIZE(USED)----EXT----DSNAME-

- P0 VB 6160/255 58 (4) KB 1 B. FORT
- >> FILE , @B. FORT, DCB (RECFM=FB, LRECL=72, BLKSIZE=7200), DSORG (PO), NEW 💥 1
- >> FCO B. FORT, @B. FORT

※1 ファイル容量、ディレクトリブロック数等は、必要分を適宜指定してください。

2. FFFTP による PC (Windows) へのファイル転送

FFFTP(フリーウェア・FTP ソフトウェア)を利用した方法を紹介します。なお、FFFTP の インストール方法は、ウェブ等を参照してください。

2.1 ホストの設定

FFFTP を起動すると下図のようなウィンドウが表示されます。

■ ホスト一覧	
	新規ホスト(N))
	新規グループ(<u>G</u>)
	設定変更(<u>M</u>)
	削除(<u>D</u>)

図 1 FFFTP ホスト一覧

ホストを設定していないと上図のように何も表示されない状態になります。"新規ホスト"ボタンをクリックすると新たにホストを設定することができます。ホスト設定ウィドウ(図 2)が表示されたら、以下の部分を設定してください。

ストの設定	?
基本 拡張 文字コード ホストの設定名(1)	ダイアルアップ 高度 ホスト名(アドレス)(N)
ユーザ名(U))	
ローカルのネルタンタイクタイ ホストの初期フォルダ(R)	
日最後にアクセスしたフォ	リー 現在のフォルダ ・ルダを次回の初期フォルダとする(E)
0	K キャンセル ヘルプ

図2 ホストの設定ウィンドウ

ホストの設定名	任意(ここでは、m-vosとする。)
ホスト名(アドレス)	m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp
ユーザー名	A00000
パスワード/パスフレーズ	*****

A00000 ********: 自分のユーザー名及びパスワードを入力

==拡張==

PASV モードを使う	チェックをはずす

==高度==

LIST コマンドでファイル	エーンカカローデート	
一覧を取得	<i>ブエツクを</i> はすす	
ホストの種類	"自動認識" => "ACOS-4" に変更	
NLST ファイル名	"" "" (宂 堋) ! = 亦 再	
/オプション	-all -/ (土禰)に変史	

設定が終了したらOK ボタンをクリックしてください。

2.2 接続

ホストを設定後もしくは新たにFFFTPを起動後、ホスト一覧ウィンドウが表示されます。



図3 ホスト一覧(ホスト設定後)

ホスト設定後であれば、m-vos という表示が一覧にあります。それを選択し、接続ボタン をクリックすると接続し、図4のような表示になります。

排続() コマンド() フゥクマーク() 表示() ツール() オブション() ヘルブ() ◆ メ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	🗊 m-vos (*) - FFFTP		
・ ダ米 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	接続(E) コマンド(C) ブックマーク(B) 表示(V) ツ	ール(① オブション(②) ヘルプ(H)	
CvProgram FilesVifftp	♥≠ X ♥♠ ♠ X @ ≌ A	B 🐴 E _o J _s 無 か び III 前	
名前 日付 サイズ 種種 ● gruninstexe 2006/08/28 1. 82,941 exc ● FFFT Texe 2003/07/10 1. 1,769 crt ● FFFT Texe 2005/04/02 2. 344.064 exc ● FFFT Text 2005/04/02 2. 4698 txt ● Instructure 2005/04/02 2. 4744 txt ● Instructure 2002/03/22 . 201 txt ● Problems.txt 2002/03/22 . 201 txt ● Problems.txt 2002/03/22 . 201 txt	🔁 🗃 C:¥Program Files¥ffftp	🖌 🔁 🚔 🛛 🖂	~
□ □ □ 0.00000 ₽FORT FORT □ FFFTP.exe 2005/01/10.1.769 cmt PA00000 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.exe 2005/01/10.1.796 cmt PA0000 MALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.be. 2005/01/10.1.796 cmt PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.948 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.948 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.948 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.941 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.941 PAULAWALLANALBOX MALBOX □ FFFTP.he. 2005/01/10.1.2.941 PAULAWALLANALBOX PAULAWALLANALBOX □ PAUDAWALLANALBOX 2005/01/22.2.441 PAULAWALLANALBOX PAULAWALLANALBOX □ PAUDAWALLANALBOX 2002/03/22.2.201 txt PAULAWALLANALBOX PAULAWALLANALBOX □ PAUDAWALLANALBOX 2002/03/22.2.201 txt PAULAWALLANALBOX PAULAWALLANALBOX □ Problema.bt 2002/03/22.2.201 txt PAULAWALLANALBOX	名前 日付 サイズ	種 名前	日付 サイズ 種類
✓ ✓	© pounistexe 2006/08/28 1. 82,941 FFFTPexe 2005/04/02 2. 344,064 ■ FFFTPh 2002/05/10 1. 1298,155 ■ FFFTPh 2002/04/02 2. 4698 ■ historytot 2005/04/02 2. 4698 ■ historytot 2005/04/02 2. 27,648 ■ problems.txt 2002/03/22 2 201	exe	Fort Malibox Sysprof Takimot Put Put
ファイル一覧の取得は正常終了しました。(137 Bytes)	<	> <	>
	ファイル一覧の取得は正常終了しまし	った。(137 Bytes)	<u>^</u>
			×
ローカル 選択0個(0 Bytes) ローカル空 65198.56M Bytes 転送待ちファイル0個	ローカル 選択0個(0 Bytes) ローカル	空 65198.56M Bytes 転送待ちファイル0個	

左側:PC クライアント側右側:m-vos 側図 4ログイン後の表示

2.3 データーセットの転送

2.3.1 順データーセットの転送

図4により説明します。

左側(PC 側)で転送したいフォルダに移動してください。フォルダを作成する場合は、右 クリックメニューからフォルダを作成してください。

右側(m-vos 側)のデーターセット一覧から転送したいデーターセットを選択します。複数 選択したい場合は、最初のデーターセット名をクリックし、シフトボタンを押しながら最 後のデーターセット名をクリックします。データーセットを複数指定する場合は、コント ロールキーを押しながら選択します。

ASCII モードで転送する必要があるため、上部のメニューバーにある赤い字のAというア イコンをクリックしてください。上部のメニューバーにある青い下矢印をクリックすると 指定したフォルダにデーターセットを転送します。

2.3.2 区分データーセットの転送

区分データーセットは、図 4 の状態では認識せず順データーセットと同様な表示になり ます。区分データーセットの転送方法は、以下のとおりです。

① 区分データーセットの中身を表示

図4の右側(m-vos側)の (フォルダの移動) アイコンをクリックしてください。

下のようなウィンドウが表示されます。ここに転送したい区分データーセット名を入力してください。

オルダ変〕	更(ホスト)			
@.FORT]		 		
]	ОК	キャンt	zil	

OK ボタンをクリックすると、区分データーセットの中身(メンバー名)が図 5 のように表示されます。

🗊 m-vos (+) - FFFTP								
接続(1) コマンド(2) フックマーク(2) 表示(2) ツール(1) オフション(2) ヘルフ(1)								
C:¥Progra	am Files¥ffftp			/A00000.@.F(DRT			~
名前	日付	サイズ 種…	名前		B	付	サイズ	種類
epuninstexe FFFTP.cnt FFFTP.exe FFFTP.hip FFFTP.txt history.txt JRE32DLL problems.txt	2006/08/28 1 2003/05/10 1 2005/04/02 2 2003/05/10 1 2005/04/02 1 2005/04/02 1 2002/03/22	82,941 exe 1,769 cnt 344,064 exe 298,185 hlp 4,698 txt 42,741 txt 27,648 DLL 201 txt	D A D III					
	開く@) notepadで開く	(1)						
	アップロード(U) 名前を変えて) 全てをアップロ・ 削除(E) 名前変更(N)) Pyプロード(<u>P)</u> _ -ド						
	フォルダ作成()	<u>Ø_</u>						
	ファイル容量計	₩算(Z)						
	最新の情報に	更新(E)						
	初く目(ナフェイビジックコ	Z + + (7 Putoo					2
ファイル一覧の!	収待は止'吊終 .	「しました」(/ Dyres)					
ローカル 選択0個((0 Bytes)	ローカル空 6529	2.96M Bytes	転送待ち	ラアイルロ個			

図5 区分データーセットのメンバー名の表示

②フォルダの作成

次に左側(PC 側)にメンバー名を格納するフォルダを作成します。左側で右クリックする と図 5 の表示のようなメニューが表示されます。その中からフォルダの作成を選択し、作 成します。

③転送

転送方法は、順データーセットのファイル転送と同様です。

3. Unix へのファイル転送

m-vos から Unix への ftp によるファイル転送を紹介します。なお、m-vos から、 SR8000/MPP(mpp-s), SR11000/J1(sr11000-s)へは ftp コマンドによる接続はできません。 (mpp-s, sr11000-sからm-vosへの接続は可能です。)

3.1 区分データーセットの場合(例:test.fortの中身)

% <u>mkdir test.fort</u>	転送先ディレクトリーの作成
% <u>cd test.fort</u>	
% <u>ftp m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp</u>	ftpでm-vosにアクセス
User(m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp:(none)): <u>a30000</u>	利用者番号を入力
Password: <u>*******</u>	パスワードを入 力
230 LOGON COMPLETE	

- ftp> prompt
 ftp> case
 ftp> nmap \$1 \$1.f
 ftp> ascii
 ftp> quote site setcode SHIFTJIS
 ftp> cd test.fort
 ftp> dir
 ftp> mget *
 ftp> bye
- y/n のプロンプトを出さない 大文字 → 小文字 $[メンバー名] \rightarrow [メンバー名.f]$ アスキーモードに変換 SHIFTJIS に変換(*1) 転送するデーターセット名を指定 メンバー名を表示(確認のため) 全てのメンバーを転送 終了(quit でも可)

- ※ 下線部分を入力
- ※1 この変換は、漢字を含むファイルの場合のみ必要です。 漢字コードは、SHIFTJIS、EUC、JIS8 が選択できます。
- 3.2 順データーセット(PS)の場合(例:test.dataを転送)

% <u>cd test</u>	転送先のディレクトリーを指定
% <u>ftp m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp</u>	ftpでm-vosにアクセス
User(m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp:(none)): <u>a30000</u>	利用者番号を入力
Password: <u>*******</u>	パスワードを入力
230 LOGON COMPLETE	
ftp> <u>case</u>	大文字->小文字
ftp> <u>ascii</u>	アスキーモードに変換
ftp> <u>get test.data</u>	データーセットを転送する
ftp> <u>bye</u>	終了(quit でも可)

※ <u>下線</u>部分を入力